

MORI MORI PRESS

April
4
2011 春号

モリモリアプレス

www.morita-toshikazu.com

tel.048-530-6001

県政報告 埼玉県議会議員
森田としかずニュースレター

森田としかず 検索 moritter 森田のつばやき mori_morita
発行/埼玉県議会自民党議員団



森田としかず事務所 (通称:モリモリオフィス)
〒360-0831 熊谷市久保島1003-2
fax.048-530-6002
平日 9:00~17:00(土・日・祝日はお休み)

討議資料



平成23年度予算特集

確かな

埼玉熊谷の明日への一歩!!



なかなか出口の見えない日本経済。しかし、「ダメだ、ダメだ」とばかり言われてはいけません。将来に向けて前に進もうという気概が求められている時代なのかもしれません。平成23年度、埼玉県は、そのような前向きな投資をしていこうという姿勢で、地域を牽引していきます!!

若い力を育てる!

世界を舞台に人材育成!!

草食系なんて言っている場合じゃない!!!脱・内向き思考で、積極的に世界に打って出る若者を応援します!

●海外留学の奨学金を創設し、また交換留学の機会を提供します。



ハーバード大学へも

ハーバード大学など海外有名大学に、高校生を30名派遣します。

- 企業の若手社員の海外研修を支援します。
- 大学生が海外でインターンシップを経験できるよう、費用を助成します。

学生の就業を支援!!

近年特に深刻なのが、若年層の失業です。卒業前の就職活動を支援すると共に、卒業間もない未就職者にも就職や研修の機会を提供し、時機を逸することなく職業経験を蓄積することができるよう応援します!



中小企業への就職も

- 県内大学でセミナーや面接会を実施し、また県内中小企業とのマッチングの機会を提供します。
- 職業体験の機会を増やすべく、インターンシッププログラム開発を支援します。
- 学校卒業後5年以内の未就職者を対象に、研修や企業への派遣を行います。

産業を伸ばす!

次世代産業への参入を支援!!

世の中は大きく動いています。県内中小企業が時代の流れを的確に捉え、新たな成長軌道に乗ることができるよう、支援します!特に、次世代自動車、エコ住宅、農商工連携の3つの重点分野における研究開発を支援します。



次世代ハイブリッドカー

海外進出を支援!!



中国の他、東南アジアへも

県では、中国上海に企業の支援拠点を設置して、県内中小企業の中国市場への進出を応援しています。これに加え、東南アジアにもコーディネーターを置き、ASEAN地域への進出も支援します。

農業を支える!!

私たちの命を支える農業。今後も引き続き埼玉農業を全面的に応援します!首都圏にある埼玉の強みを活かし、ネギ、ほうれん草、枝豆など、トップクラスの野菜をさらに売り込み、また他の品目も育成します。



日本一の埼玉野菜

くらしを守る!

産科・小児科医療の充実!!



県立がんセンターも建設中

安心して親御さんたちが子どもを産み、育てられるよう、医療を充実させます。周産期母子医療センターの機能を拡充すると共に、小児集中医療室の設置、また小児専門拠点病院の増設を行います。

子育てを応援!!

子どもは地域の宝です。より身近なところで子どもに関わる企業内保育園の設置を支援。また父親の子育て参加を促す冊子を作成。保育士体験への積極的な参加も呼びかけます。



防災体制の充実!!



新防災センター稼働

今年3月に新しい危機管理防災センターの運用が始まり、万が一への備えを充実させました。また昨年墜落で失われた防災ヘリを補うべく、新しいヘリの購入手続きを進めます。両者とも県民の皆様の安心安全を担保する要となります。

どうなる? どうする?

子ども手当事務返上へ!!

昨年子ども手当の支給が始まりました。国庫の全額負担でなく、地方自治体にも負担を求める内容でした。「一度限り」という国からの説明に応じ、県の負担分を支出しました。しかし、今回、再び地方の財政負担を求める内容となっています。県ではこうした国の姿勢に憤りの意志を示すべく、子ども手当に関する事務の返上することにしました。そもそも財源の裏付けもない子ども手当。そして事務返上という埼玉県の対応。皆様はいかがお考えになりますか…?

ご意見募集中!!

どうなる? どうする? 「子ども手当」
裏面下記載の事務所宛にメール・FAX・ハガキにて「子ども手当係」までお送りください!!

森田の森づくり

Morita no Morizukuri

目指せ100万本!!
これまでに170万本を達成!!

県民一人一本の植樹を目指して、今年度も引き続き森づくりの事業が行われます。一年間に100万本という目標をクリアするのは難しいですが、それに近いところで植樹の取り組みが進行しています。学校や市町村の森づくりに対する事業費の補助も行います。皆様が植樹に取り組まれた際には、ぜひ県の「エントリー制度」に登録してくださいね!!



吉川市「みどり」と川の再生」式典 2/6

植樹カウンター稼働中!!

埼玉県植樹カウンター
1,763,393

みどり川再生事業、710万県民、1人1本植樹運動 展開中!!
あなたの1本は、明日の埼玉の710万本になる
2年間で、176万本達成!!